



丹篠議第468号
令和5年12月27日

丹波篠山市長 酒井 隆明 様

丹波篠山市議会議長 小畠 政行



議会報告会における提言書について

丹波篠山市議会では、市民に開かれた身近で信頼される議会、市民の負託に応えられる議会の実現を目指し、市政全般にわたって、議員及び市民が自由に情報及び意見交換をするために議会報告会を開催しています。

令和5年11月8日から11月21日の間に市内10地区で開催した議会報告会において、自治会長をはじめ、まちづくり協議会長、子育て世代の保護者や地域住民の皆様など、多くの方々にお越しいただき、様々なご意見・ご提言を頂戴しました。

については、別紙のとおり情報提供するとともに、本議会として特に喫緊の課題であると考え内容について下記のとおり提言いたしますので「市民が暮らしやすい丹波篠山市」に向けて、充分検討を加えられ、適切に措置・対処されますよう求めます。

記

1. 「市木」桜の維持管理について
2. 定住促進重点地区の見直しを
3. 集落農業守り隊応援事業の見直しを

1. 「市木」桜の維持管理について

本市には、数多くの桜の名所があり、春になると地域住民や観光客を楽しませてくれ、本市の美しい景観形成に寄与している。しかしながら、ソメイヨシノの多くはテング巢病に罹患しており、適切な処置が行われなければ将来枯れてしまう可能性がある。また、巨木化した桜は、適切な管理が必要で、高所での作業は危険を伴うため業者対応を余儀なくされている状況である。

今、市では「桜ビジョン」の策定に取り組みされており、今後方針が示されることになるが、市の役割、管理面における人材育成についても、市の積極的な方針を示していただきたい。また、桜の維持管理には、経常的な経費の確保も必要であることから、策定予定の「桜ビジョン」に基づき適正な予算の確保に努められたい。

2. 定住促進重点地区の見直しを

本市では人口減少対策として、市内8地区を定住促進重点地区と位置づけ、様々な支援策を講じている。まちづくり単位での高齢化率、人口減少率等を見定め地区の選定を行っているが、人口減少は重点地区以外でも進展している。人口減少の実情に即し、対象地区の見直しを速やかに行い、公平で適正な支援体制を整えられたい。

3. 集落農業守り隊応援事業の見直しを

農業の営みを持続可能なものとして次世代に引き継いでいくため、小規模農家への支援策として、農業機械購入支援事業を実施しているが、現時点の申請状況は想定約3割程度と低い利用状況となっている。この原因について早期に調査、分析を行い、農業者のニーズに即した補助制度になるよう、事業の見直しを図られたい。また、市の特産物を守る観点からも、水稻のみに限定することなく、他の特産物においても利用できるような制度設計を再検討いただき、本市の基幹産業を支えている農家へ広く門戸を開いていただきたい。